

新たな総合計画・総合戦略が スタートします！

第6次稲美町総合計画



(計画期間:R4年度~R13年度)

総合計画は、町のまちづくりの基本的な指針です。

新たなまちづくりの理念を掲げた第6次稲美町総合計画が、4月からスタートします！

基本理念

ともにつくる 未来へつなぐ 稲美町

第6次稲美町総合計画 5つの基本目標

1 緑豊かな自然と調和した 安心して暮らせるまち 都市・環境

市街地や田園集落での調和した土地利用を推進するとともに、公園や道路などの暮らしの基盤を整備し、快適に暮らせるまちを目指します。また、自然豊かな環境を保全するとともに、安全な暮らしを守る環境を整備し、安心して暮らせるまちを目指します。



2 だれもが健やかに 地域で暮らせるまち 保健・福祉

安心して妊娠・出産・子育てができる環境を整えるとともに、保健・医療・福祉サービスを充実させ、だれもが健やかに暮らせるまちを目指します。また、お互いに支えあう地域ぐるみの福祉を推進し、だれもが安心して暮らせるまちを目指します。



3 生涯にわたる学びを充実し 夢と志を育むまち 教育・文化

学校教育の充実や教育環境の整備により、児童・生徒の個性や能力をいかすきめ細かな教育を推進し、夢と志を育むまちを目指します。また、生涯学習や人権教育などを推進することにより、お互いを認めあうことのできる地域と人を育むまちを目指します。



4 地域の特性をいかした 活力と魅力あるまち 産業・観光

農業の基盤整備や担い手の確保、新技術などを活用した持続可能な農業を振興するとともに、地域経済の振興と労働者福祉の向上を図り、活力あるまちを目指します。また、魅力ある交流と観光を推進し、にぎわいのあるまちを目指します。



5 ともに進める 持続可能なまち 協働・行政

多様な主体との協働を進めるとともに、地域や広域での交流・連携を推進し、ともに進めるまちを目指します。また、新技術などの社会変化に対応した行政サービスを提供し、効率的で健全な行財政運営による持続可能なまちを目指します。



SDGsとの関係性

SDGsは、2030年までに世界が抱えるさまざまな課題の解決を目指す世界共通の目標です。総合計画・総合戦略は「誰ひとり取り残さない社会」の実現を目指すSDGsの考え方を関連づけています。



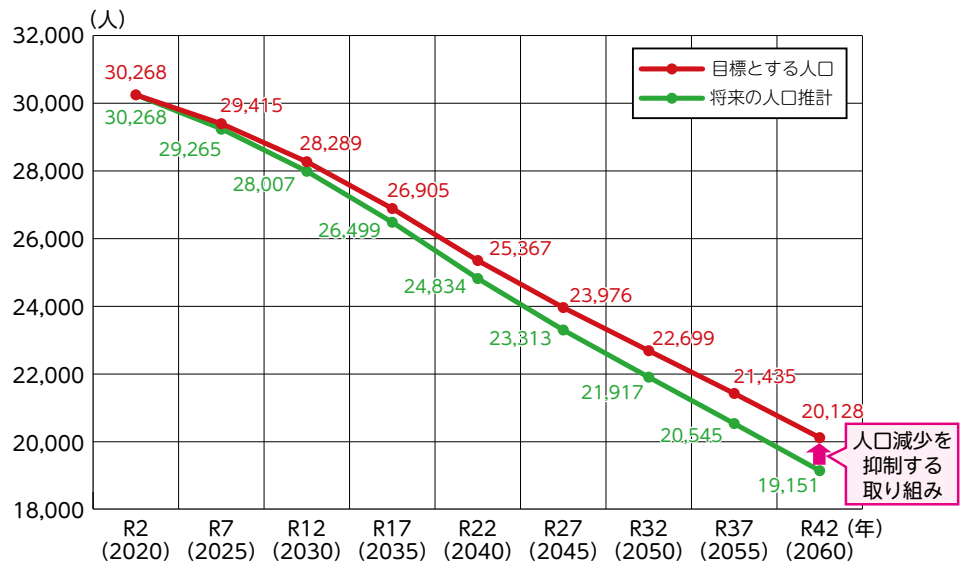
稲美町人口ビジョン

 (計画期間：H27年～R42年)

将来人口推計などの分析をし、稲美町の40年後の人口目標を示すものです。


現在、町は人口が減少傾向にあることから、活力あるまちを維持するため、**人口減少を抑制する取り組み**を行っています。

今後も、令和42(2060)年に、**20,000人**の人口を維持する目標を掲げ、様々な取り組みを実施します。



人口減少を抑制する取り組み

第2期稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略 4つの基本目標

第2期稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略

 (計画期間：R4年度～R8年度)

人口ビジョンで示した目標を実現するための、施策や事業など町の取り組みを示すものです。

